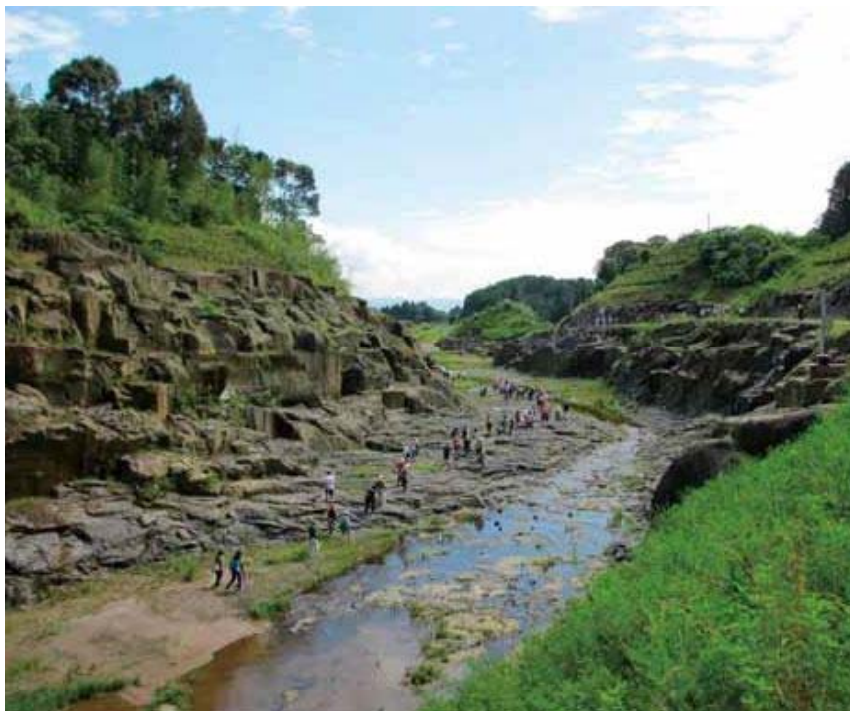




## 『曾木の滝分水路』



### 所在地

伊佐市大口曾木

### 所有者・管理者等

国土交通省 九州地方整備局  
川内川河川事務所

### 設計者

熊本大学大学院自然科学研究科 教授 小林一郎, 准教授 星野裕司,  
熊本大学空間情報デザイン研究室, 景観デザイン研究室, (株)東京建設コンサルタント

### 施工者

(株)有迫組, (株)田代組, (株)森山(清)組, こうかき建設(株), 林建設(株), (株)北原組

### 完成年度

平成22年度

### 概要

曾木の滝分水路は、平成18年7月に発生した鹿児島県北部豪雨によって、甚大な被害を被った川内川上流域の洪水被害を低減させるため、川内川激甚災害対策特別緊急事業により伊佐市大口の「曾木の滝」周辺に造られたものである。

年間約30万人の観光客が訪れる「曾木の滝」や周辺景観との調和を図るため、「あたかも自然が創り出したかのような景観の創出」をコンセプトに、自然景観の創出に配慮して整備されている。

### 講評

曾木の滝分水路の整備においては、学識経験者や地域住民代表などを含めた設計時の入念な検討や、工夫を重ねた施工など、すべてのプロセスにおいて新しい試みを行っている。

人工的に造りすぎず、周りの景観になじませているなど、きめ細やかさがあり、計画策定から施工に至るまで、地域の方々と一緒に、良いものを作ろうという一連の取り組みがとても貴重で素晴らしい。

完成後、地域の方々と曾木の滝分水路の一般公開イベントを開催するなど、災害を忘れないための取り組みも始まっている。